

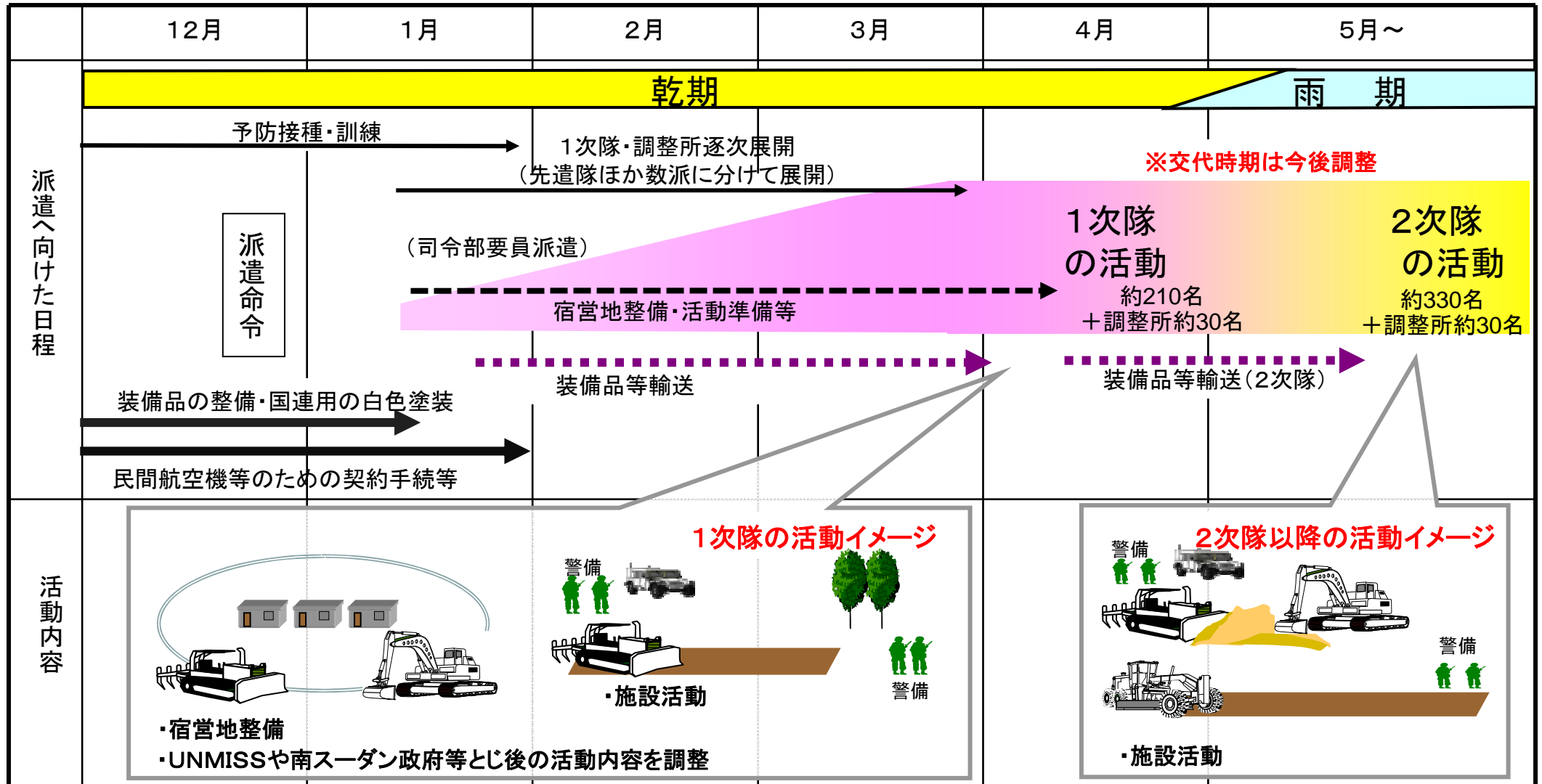
国際連合南スーダン共和国ミッション

(UNMISS)への自衛隊の施設部隊派遣の概要について

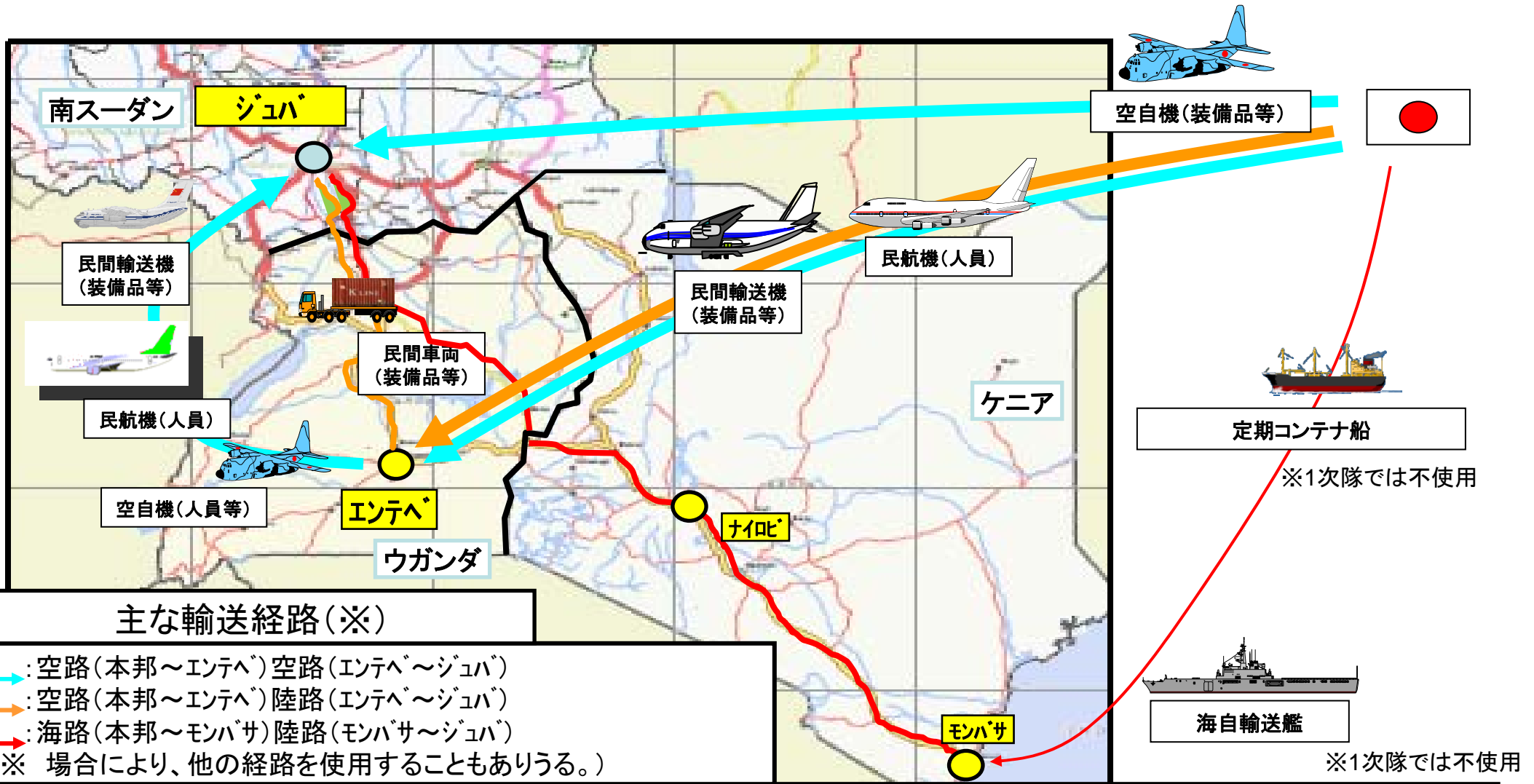
防 衛 省
平成 23 年 1 2 月

(南スーダンPKO)部隊派遣へ向けた日程・活動内容(予定)

- 平成24年1月以降より部隊を順次展開。第1次施設隊については約210名、第2次施設隊以降は約330名、現地支援調整所要員については約30名となる(予定)。
- 当面、首都ジュバ及びその周辺で活動。

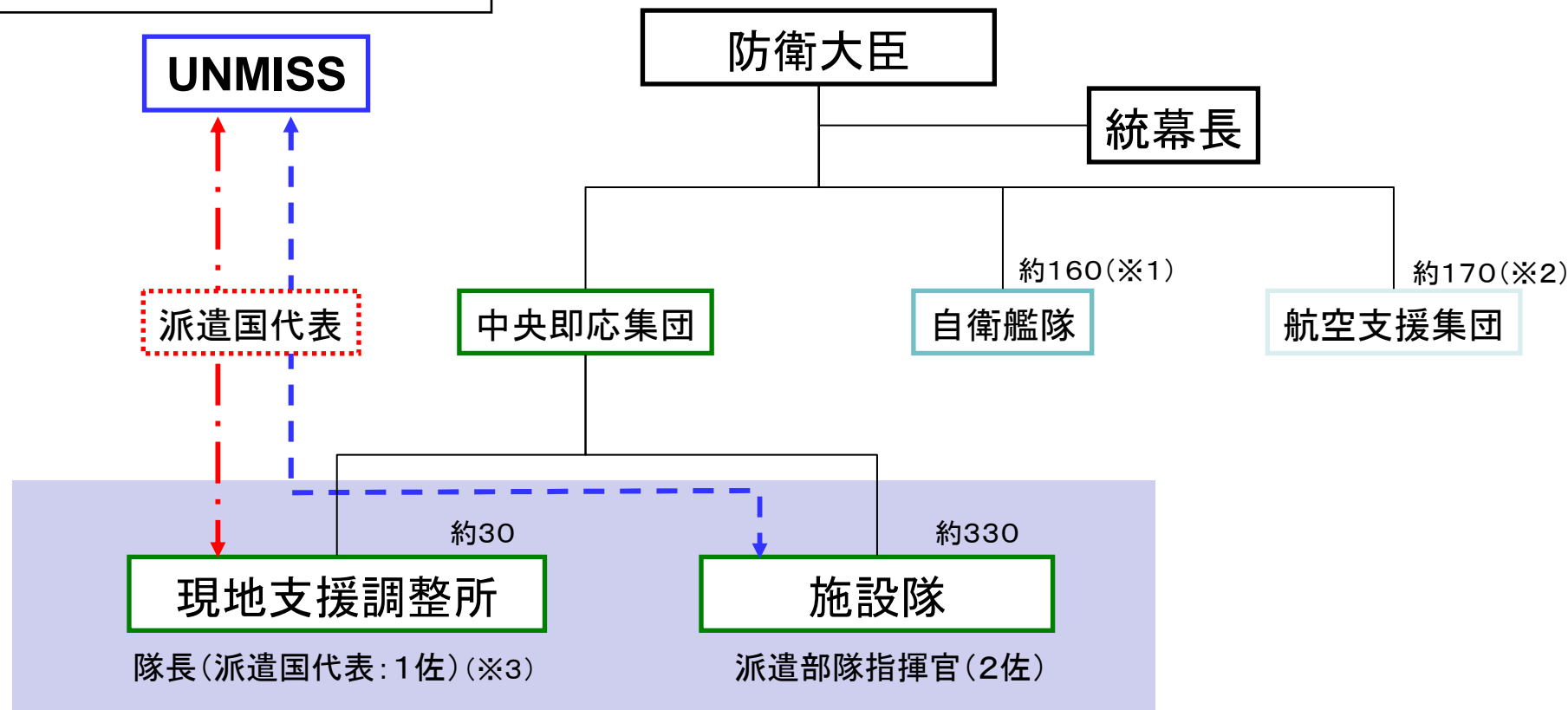
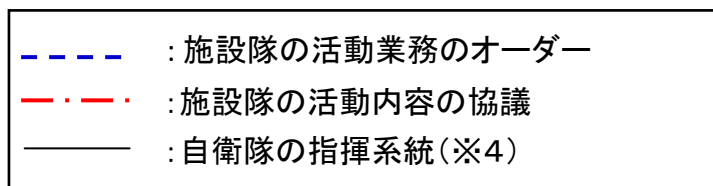


(南スーダンPKO)部隊展開・輸送計画



- 南スーダンへの部隊展開・輸送は、陸海空の各種輸送手段を適切に組み合わせて実施。
- 1次隊の部隊展開・輸送に関しては、民間及び航空自衛隊の航空輸送力を活用(海上輸送力は使用せず)。一部要員はエンテベから空自C-130Hにより移動。一部重機等はエンテベから民間車両で輸送。

(南スーダンPKO)派遣部隊の編成



(※1)「おおすみ」型輸送艦1隻の人員

(※2)空輸隊(人員及び物資等の空輸部隊)、支援機隊・救援整備隊(現地で整備等の所要が発生した時のための部隊)、
 運航支援隊(各寄港地における運航支援のための部隊)を合わせた数。

(※3)現地支援調整所の長が、国連との関係において自衛隊部隊の窓口となる予定。

(※4)各自衛隊の協同による運用形態。

(南スーダンPKO)現地支援調整所

約30名

調整所長【1佐】

- ・派遣国代表として、施設活動の全般についてUNMISSと調整
- ・現地支援調整所長として、現地支援調整所の業務を統括

本部(ジュバ)

- ・施設部隊が行う活動に係るUNMISS、南スーダン政府及び関係機関との間の協議及び調整
- ・ジュバにおける後方補給業務等に関する調整

ウガンダ班

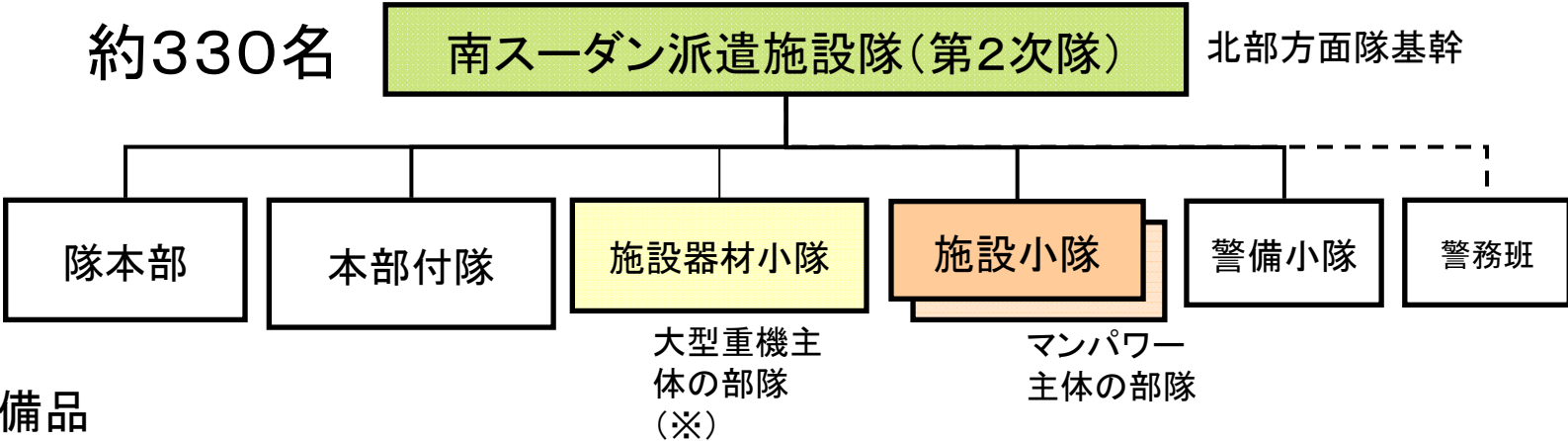
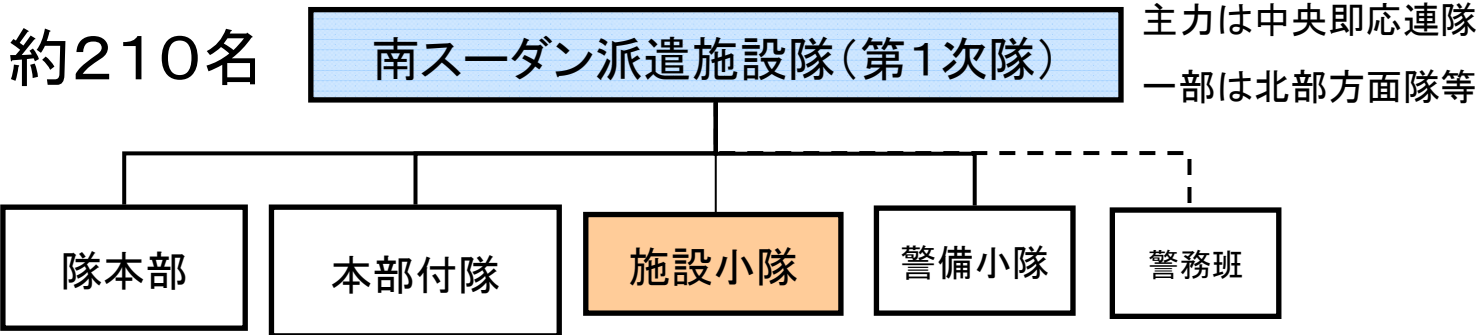
- ・ウガンダにおける後方補給業務等に関する調整

ケニア班(※)

- ・ケニアにおける後方補給業務等に関する調整

※ 必要に応じ出張により対応
(例:ケニアへの患者後送、モンバサへの海上輸送、撤収時における本邦への海上輸送等)

(南スーダンPKO)施設部隊の編成概要



◎ 主要装備品

主要な施設器材及び車両 計約160両



ドーザ



グレーダ(※)



軽装甲機動車



高機動車



トラック(大型・中型・小型)



油圧ショベル



バケットローダ(※)

主要な武器



9mm拳銃
計84丁



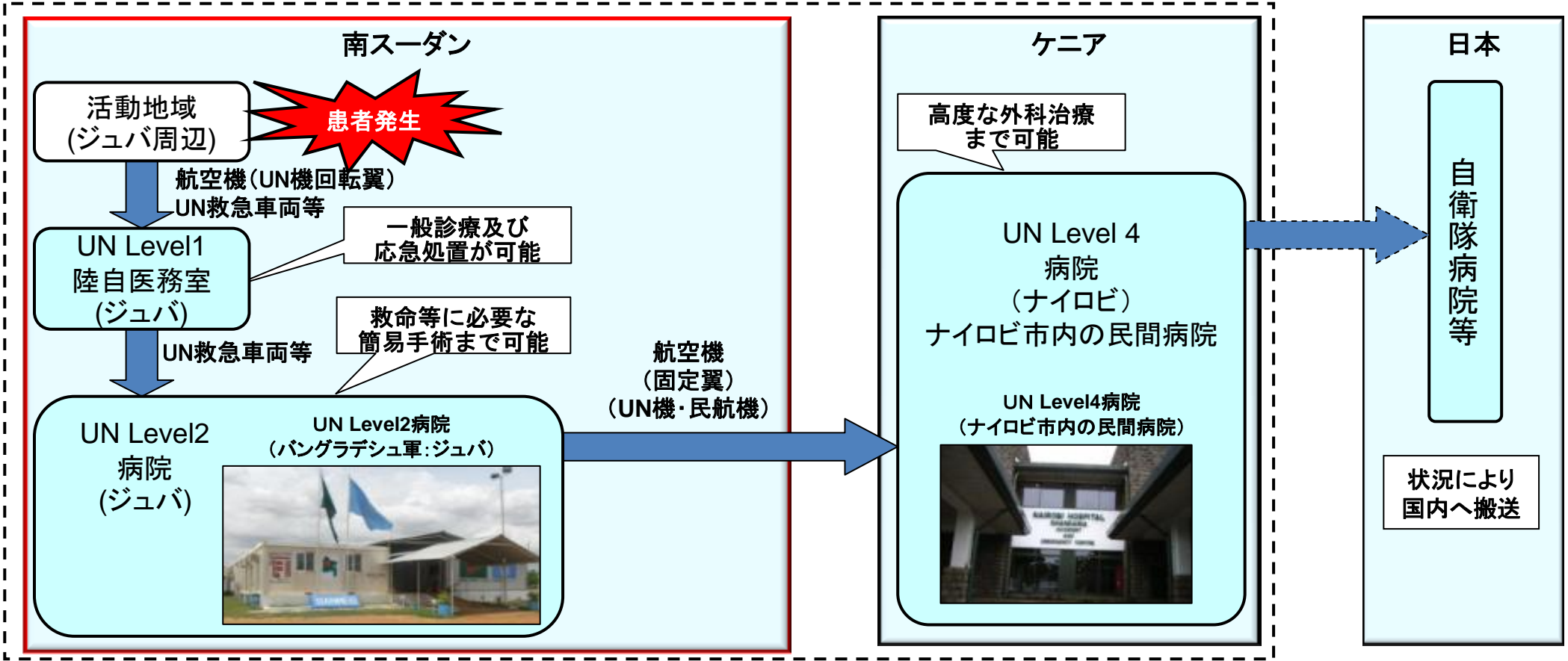
89式小銃
計297丁



5.56mm機関銃
MINIMI
計5丁

南スーダンPKOでの医療体制

○ 南スーダンで治療困難な重症患者は、ケニアへの後送を基本とする。



(参考) 国連が定める医療基準

- ・Level1: 初期医療、救急蘇生、安定化、次のレベルへの患者搬送
- ・Level2: 二次医療、救急蘇生、安定化、四肢又は生命維持のための外科手術、基礎的な歯科医療、次のレベルへの患者搬送
- ・Level3: Level1、Level2に加えて、総合的な診断、専門的な入院治療、外科手術
- ・Level4: 専門的な外科手術、処置、再建、リハビリ、回復期医療を含む、任務地域では得られない高度な専門医療

(出典: Medical Support Manual for United Nations Peacekeeping Operations (Chapter 3))